製造業における
グローバルIT戦略フォーラム2014

～国境を越えたIT基盤統合/ERP標準化への製造業実践事例

2014年8月27日(水) 13:00～18:00 終了後懇親会あり

会場 TKP大手町カンファレンスセンター 東京駅から徒歩5分 定員 80名

講演・双方向の意見交換・懇親会の3部構成

1. 製造業のIT部門責任者による具体的実例の発表
2. 講演者を含む参加者全員とお話ができる規模で開催
3. 名刺交換から紹介まで開催前・当日・開催後、期間区切らず支援

ご講演企業

[**コマツ**] 情報戦略本部 テクノロジー部長 **中島 輝 氏**

[**コニカミノルタ株式会社**] 執行役 IT業務改革部長 **田井 昭 氏**

[**SAPジャパン株式会社**]
リューション&イノベーション統括本部 インダストリーバリューエンジニアリング シニアディレクター **大西 嘉明 氏**

[**日産自動車株式会社**] グローバル情報システム本部 本部長 (兼) IS企画統括部 部長 **能丸 実 氏**

フォーラムの焦点

- 最適なIT基盤のあり方とは？社内での調査、議論、コンセンサス
- IT基盤統合/ERP標準化への課題整理と具体的ステップ
- 経営情報の可視化、一元化に関する具体的取り組み
- 海外IT部門とのコミュニケーション、ITポリシー作り
- M&Aした企業の、IT統合の取り組み
- IT部門のおけるグローバル人材育成(本社および海外IT部門)

[協賛企業]

SAP

企画の背景と狙い

国内市場の縮小や、新興国市場の拡大などを背景に、近年、多くの企業が、新興国・新市場への進出を加速させている。激しさを増すグローバル競争や、急速に変化する世界経済に対応する為にも、経営資源の最適な投入や活用が必要とされ、IT部門が如何に？それに貢献するか？具体的取り組みが求められている。

そのような中、拡大するグループ事業のIT基盤の統一やITを活用した経営情報の可視化など、グローバルなITガバナンスのあり方を見直す動きが出始めている。しかしながら、海外展開の過程で、マルチナショナル化したIT基盤を統一するコストは莫大であり、事業部門や、国や文化をまたいだ、コンセンサスの形成は容易でない。“グループグローバル”なITが、本当に必要とされているのか？事業形態に最適なITのあり方は何か？その姿をどのように構築していくか？突き詰めた議論が必要とされている。

本フォーラムでは、該当テーマにしたがって、グローバルなITガバナンスに関して、具体的な取り組みを推進されている企業にお話いただく。各社が如何にグローバルITのあり方を議論し、その形を作ってきたか？具体的事例を共有することで、参加企業のグローバルIT戦略に貢献することを、本フォーラムの目的とする。

©リバイバル・マネジメント・フォーラム All Rights Reserved.

2014年8月27日(水) 13:00～18:00 終了後 懇親会を開催

[コマツ]

情報戦略本部　テクノロジー部長
中島　輝 氏

『コマツにおけるグローバルシステム統合』

■「小さく始めて大きく育てるビジネスモデル」に対応したＩＣＴ適用
■「ゆるやかな連邦制」に対応したＩＣＴマネジメント
■「適材適所」を意識したＩＣＴ統合

投資目的･効果を明確にした上でＩＣＴ投資を行うことはきわめて重要なポイントである。日本発のシステムを国･地域特性や現地のビジネスモデルを無視して統合化を推進することは、狙っていた効果を得られないばかりではなく、予想外の機能追加や現地メンバーの拒否反応を伴うリスクがある。現地でのビジネス環境に対応したシステム化を中心に考えながら、同時に、必要と思われる機能についてはグローバルシステム統合を実施する必要がある。コマツにおける、「適材適所」を意識したＩＣＴ統合の基本的考え方と実際例を紹介する。

[コニカミノルタ株式会社]

執行役　ＩＴ業務改革部長
田井　昭 氏

『コニカミノルタにおける、「アジアパシフィック販社システムの標準化」』

■ 定常的IT運用コストの削減に向けた、アプリケーション統合方針策定
■ 新興国にスピーディーに展開できる、標準化されたITシステム基盤の構築
■ 標準化確立のためのＢＰＭ, ＭＤＭの導入

コニカミノルタでは、グループ各社個別にシステム基盤を整備してきたため各国各様のシステムが存在し、定常的ＩＴ運用費用が大きくなっていた。そこで２０１２年にグローバルＩＴ戦略を策定し、アプリケーション統合方針を定めた。まずは成長著しいアジアパシフィック販社システムの標準化･統合化に着手しシステム導入費用/運用費用を削減した。今回のシステムから、グローバル規模での業務プロセス標準化の実行手段としてＢＰＭも導入している。今後は経営情報の整備を進める一環で、データ標準化のためにＭＤＭの導入を進める。

[SAPジャパン株式会社]

ソリューション&イノベーション統括本部
インダストリーバリューエンジニアリング
シニアディレクター
大西　嘉明 氏

『グローバル企業様におけるITシンプル化の取り組み事例』

■ ビジネス環境への対応と業務改革の取り組みに対するITシステムのシンプル化事例
■ ITシステムのシンプル化によるイノベーティブな取り組み
■ IT投資に対する効果のマネジメント

SAPソリューションを採用しているお客様においても、変化するビジネス環境への対応、社内の業務改革の取り組みなどのイニシアチブに対して、ITシステムでの貢献を継続的に行ってきている。このセッションでは、いくつかのお客様の取り組み事例を、ITシステムのシンプル化によるビジネスへのさらなる貢献という視点で紹介する。また、IT投資に対しての効果のマネジメントについて、SAPが考えるフレームワークとともにお客様の取り組みについて紹介する。

[日産自動車株式会社]

グローバル情報システム本部
本部長　(兼)　IS企画統括部　部長
能丸　実 氏

『日産自動車におけるグローバルIS/IT戦略～VITESSE～』

■ Value Innovation ： グローバルビジネスへのIS/ITの価値創造と貢献
■ TEchnology Simplification ： グローバルIT統合の推進
■ Service Excellence ： グローバルサービス品質の向上／ガバナンス、プロセス、タレント

日産自動車の中期経営計画である「POWER88」を達成するため、グローバルIS/IT戦略「VITESSE」を2011年度に策定し、現在、強力に推進している。ビジネスがグローバルに拡大していく中、この戦略の３本柱である　VI)ビジネス貢献、TES)IT統合、SE)品質向上、における様々なブレークスルーをグローバルレベルでいかに実行しているか、いかなる価値を生み出しているか、「VITESSE」前半３年間の具体的な成果と実績、および、後半(2014-16)の新たな課題と挑戦を紹介する。

©リバイバル･マネジメント･フォーラム　All Rights Reserved.

製造業における
グローバルIT戦略フォーラム2014

～国境を越えたIT基盤統合/ERP標準化への製造業実践事例

2014年8月27日(水) 13:00～18:00 終了後懇親会あり

会場 TKP 大手町カンファレンスセンター 東京駅から徒歩５分 定員 80 名

以下のフォームをご記入の上、FAX して頂けますようお願いいたします。

fax.03-6893-6114

会社名			
郵便番号･住所			
参加者①			
お役職･部署			
TEL		E-MAIL	
参加者②			
お役職･部署			
TEL		E-MAIL	
参加者③			
お役職･部署			
TEL		E-MAIL	

ご参加料金 チェックボックスに「印」をお願い致します。

- □ １席申込み： **15,000 円**（懇親会込み・消費税別）
- □ ２席申込み： **28,000 円**（懇親会込み・消費税別）
- □ ３席申込み： **35,000 円**（懇親会込み・消費税別） ※参加者は随時変更可能

〈申込み要領〉

- フォーラム詳細案内・会場案内は、開催２週間前にご案内致します。
- 申込み後、ご都合によりご出席出来ない場合は、代理の方がご出席下さい。
  ※早期割引の方のキャンセルは原則として受け付けておりません。
  キャンセルの場合、７月 28 日までに書面にてご連絡を頂いた場合、「50%の返金」もしくは「次回無料招待券の発行」をさせて頂きます。
  ７月 29 日以降の欠席のご連絡は原則として受け付けていません。
- お支払いは請求書の到着から、原則 10 日でのお支払いをお願いしております。その際は、経理担当の方をご紹介下さい。
  ※経理上の問題がある場合は、お気軽にご相談下さい。
- 講演者・講演時間スケジュール・会場に関して、変更がある場合がございます。あらかじめご了承ください。
- 地震、台風などによる自然災害により、延期・中止となる場合がございます。あらかじめご了承ください。
- 個人情報に関して：開催フォーラムに関わる全ての方に関する個人情報の重要性を認識し、その管理・利用を適切に致します。

リバイバル・マネジメント・フォーラム事務局
〒104-0061 東京都中央区銀座 1-15-7 MAC 銀座ビル 3 階
電話：050-7577-6385 FAX： 03-6893-6114

©リバイバル･マネジメント･フォーラム All Rights Reserved.